

採択理由

プログラム名：先端融合領域イノベーション創出拠点の形成
課題名：バイオプロダクション次世代農工連携拠点
代表者名：野上 智行
所属機関名：神戸大学

コメント

バイオマスの活用を効率的に推進する手段として、農学・工学を融合させたバイオリファイナリーはわが国においても重要なテーマであり、これを推進する本課題により、長期的視野から重要な研究開発拠点を形成することが期待できる。また「菌体触媒」と「細胞表層」をコア技術とした融合領域において、多様な協働機関とともに新しいバイオプロダクションシステムを開拓する本課題はユニークであり、これまでの研究成果を踏まえたスケールの大きな成果が期待できる。

ただし、多数の協働企業のために責任分担が不明確となり、研究開発が非効率化する可能性が危惧される。総花的とならないよう、各協働企業のコミットメントを再確認し、そのパートナーシップのあり方を明確に定め、PDCAサイクルを通して、強いリーダーシップをもってマネジメントすることが必要である。また、研究成果の知財マネジメントについて、具体的な計画を立て、再審査までにコア技術をイノベーションに繋げられるように、企業との連携体制を堅固なものにすることが求められる。さらに、農工連携によるバイオリファイナリーセンターの役割・目的を明確にした上で、イノベーションに向けて最善のロードマップを描くことが必要である。

【採択条件】

3年目、7年目の目標をより明確にして、ミッションステートメントに記載すること、また、人材育成計画に関しても、ミッションステートメント（特に第2、3、4、5、6項）に適宜記載すること。